



平成22年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年10月8日

上場会社名 イワキ株式会社

コード番号 8095 URL <http://www.iwaki-kk.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 岩城 修

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 高野 滋

TEL 03-3279-0481

四半期報告書提出予定日 平成22年10月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年11月期第3四半期の連結業績(平成21年12月1日～平成22年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年11月期第3四半期	36,847	5.2	336	111.6	451	—	180	—
21年11月期第3四半期	35,036	—	159	—	△188	—	△294	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年11月期第3四半期	7.48	—
21年11月期第3四半期	△12.25	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年11月期第3四半期	30,419	11,401	37.5	473.80
21年11月期	30,744	11,304	36.8	469.74

(参考) 自己資本 22年11月期第3四半期 11,401百万円 21年11月期 11,304百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年11月期	—	3.00	—	3.00	6.00
22年11月期	—	3.00	—		
22年11月期(予想)				3.00	6.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成22年11月期の連結業績予想(平成21年12月1日～平成22年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,600	5.5	530	76.2	640	633.2	250	—	10.39

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 _____）、除外 一社（社名 _____）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	22年11月期3Q	24,293,117株	21年11月期	24,293,117株
② 期末自己株式数	22年11月期3Q	230,000株	21年11月期	226,969株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	22年11月期3Q	24,064,752株	21年11月期3Q	24,069,908株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の経済環境予想等の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成21年12月1日～平成22年8月31日）におけるわが国経済は、輸出の増加などにより企業収益の改善がみられ緩やかな回復基調にあるものの、依然として厳しい雇用情勢や個人消費の低迷、また、為替の影響など、景気の先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループでは、外部環境・内部要因の変化にスピード感をもって対応すべく、当社グループの「つよみ」を活かした総合力の発揮による事業領域の拡大、収益構造の改善に向けた活動に注力してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は368億4千7百万円（前年同期比5.2%増）、営業利益は3億3千6百万円（同111.6%増）、経常利益は4億5千1百万円（前年同期は1億8千8百万円の経常損失）、四半期純利益は1億8千万円（前年同期は2億9千4百万円の四半期純損失）となりました。

次に事業の種類別セグメントの概況につきご報告申し上げます。

【医薬品事業】

医療用医薬品は、主力の外皮用剤が4月の薬価改定の影響を受け納入価の落ち込みがあったものの、4月から導入された『後発医薬品調剤体制加算』制度により、大幅に伸長いたしました。

一般用医薬品は、記録的な猛暑日が続き、保冷・冷却材、整腸剤、下痢止めなどが大きく伸長したものの、ミニドリンク剤や水虫、殺虫剤などの季節品が低迷し、全体的に医薬品は苦戦いたしました。一方、連結子会社の害虫忌避剤は好調でしたが、主力のビタミンC末は低調に推移いたしました。

この結果、当事業全体の売上高は131億8千4百万円（前年同期比0.0%増）、営業損失は1億3百万円（前年同期は2億7百万円の営業損失）となりました。

【医薬・香粧原料事業】

医療用医薬品原料は、主力の解熱鎮痛剤が大幅に伸長いたしました。ジェネリック医薬品原料および賦形剤は、後発品使用促進策などにより伸長いたしました。一般用医薬品原料は、主力の血管収縮剤が円高の影響を受け低調に推移いたしました。ビタミンB誘導体は、顧客の在庫調整があり低調に推移いたしました。

健康食品原料は、一部主力原料の納入量の落ち込みなどにより前年同期を下回る結果となりました。

香粧原料は、海外からの製品輸入が堅調に推移いたしました。また、新規取引先および事業領域の拡大に努め、成果も見られました。

この結果、当事業全体の売上高は133億9千万円（前年同期比2.1%増）、営業利益は7億4千万円（同9.1%減）となりました。

【化成品事業】

関連会社のめっき薬品は、韓国向けのプリント配線板関連製品や台湾向けの半導体関連製品の輸出が好調に推移いたしました。国内では、コネクタ・チップ部品関連製品が、堅調に推移いたしました。化学品原料は、めっき薬品や機能樹脂向け原料が堅調でしたが、塩ビ安定剤原料や溶剤関連原料は、市場の価格競争の影響を受け低調に推移いたしました。

連結子会社の特殊薬品は、ポリマー重合触媒の大幅な伸長はありましたが、他製品の落ち込みが大きく、低調に推移いたしました。また、医薬中間体は、化粧品原料や健康食品原料の新規導入があり堅調に推移いたしました。

この結果、当事業全体の売上高は72億6千1百万円（同24.4%増）、営業利益は1億1千4百万円（前年同期は1百万円の営業利益）となりました。

【食品原料事業】

関連会社製品は、主力のエキス系調味料が即席麺スープ用途を中心に回復傾向が見られたほか、機能性食品素材をテーマとした粉末受託加工に関わる新規ビジネスの獲得や、既存ビジネスの伸長により前年同期を上回りました。

輸入原料は、アミノ酸調味料の大手顧客向け販売の増加、乾燥ポテトのスナック食品向け新規採用、また「食べるラー油」ブームを背景とした乾燥オニオンの需要増など、全般に順調に推移いたしました。

この結果、当事業全体の売上高は30億1千1百万円（前年同期比3.6%増）、営業利益は1億円（同23.8%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産額304億1千9百万円（前連結会計年度末比3億2千4百万円減）、負債合計190億1千8百万円（同4億2千1百万円減）、純資産は114億1百万円（同9千6百万円増）となりました。総資産の減少の主な理由は、現金及び預金の増加1億1千4百万円、電子記録債権の増加1億7千8百万円、仕掛品の増加9千3百万円、投資有価証券の増加2億1百万円、受取手形及び売掛金の減少9億1千1百万円、によるものです。負債合計の減少の主な理由は支払手形及び買掛金の減少3億1千6百万円、未払費用の減少3億8百万円、退職給付引当金の増加1億3千3百万円によるものです。純資産の増加の主な理由は利益剰余金の増加3千5百万円、その他有価証券評価差額金の増加6千9百万円によるものです。

キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動によるキャッシュ・フローは増加、投資活動によるキャッシュ・フローは減少、財務活動によるキャッシュ・フローは減少、これに現金及び現金同等物に係る換算差額を加えた全体で1億1千4百万円の増加となり、当第3四半期連結累計期間末における資金残高は17億9千4百万円となりました。当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間において営業活動により増加した資金は5億9千万円となりました。これは、主に、税金等調整前四半期純利益4億1千2百万円、減価償却費3億8千2百万円、売上債権の減少額7億3千2百万円、仕入債務の減少額3億1千6百万円、未払費用の減少額3億7百万円、法人税等の支払額3億6千2百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間における投資活動により減少した資金は2億4千8百万円となりました。これは、主に、有形固定資産の取得による支出2億3千7百万円、無形固定資産の取得による支出2千6百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間における財務活動により減少した資金は2億1千9百万円となりました。これは、主に、短期借入金の純増加額1億円、長期借入金の返済による支出1億8千万円、配当金の支払額1億2千5百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年11月期の業績につきましては、平成22年7月7日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① たな卸資産の実地棚卸の省略

当第3四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し第2四半期連結会計期間末に係る実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法により算定しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,794,631	1,679,861
受取手形及び売掛金	13,117,068	14,028,449
電子記録債権	178,889	—
商品及び製品	2,756,587	2,841,321
仕掛品	714,654	621,034
原材料及び貯蔵品	417,841	350,912
その他	583,353	536,655
貸倒引当金	△49,538	△42,603
流動資産合計	19,513,489	20,015,631
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,695,533	5,694,344
減価償却累計額	△3,757,552	△3,731,167
建物及び構築物（純額）	1,937,981	1,963,176
機械装置及び運搬具	6,224,846	6,217,765
減価償却累計額	△5,748,427	△5,652,081
機械装置及び運搬具（純額）	476,419	565,684
土地	2,534,279	2,534,279
その他	1,169,567	1,073,750
減価償却累計額	△870,651	△834,312
その他（純額）	298,916	239,437
有形固定資産合計	5,247,597	5,302,578
無形固定資産	288,922	356,963
投資その他の資産		
投資有価証券	4,400,835	4,199,329
その他	1,070,935	948,092
貸倒引当金	△102,485	△78,423
投資その他の資産合計	5,369,285	5,068,998
固定資産合計	10,905,805	10,728,540
資産合計	30,419,294	30,744,171

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,934,234	12,250,745
短期借入金	4,640,000	3,740,000
未払費用	557,946	866,770
未払法人税等	149,340	227,628
その他	425,127	241,210
流動負債合計	17,706,648	17,326,354
固定負債		
長期借入金	—	980,000
退職給付引当金	788,943	655,621
その他	522,519	477,312
固定負債合計	1,311,462	2,112,933
負債合計	19,018,111	19,439,288
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,572,382	2,572,382
資本剰余金	2,088,222	2,088,222
利益剰余金	6,612,835	6,577,519
自己株式	△54,529	△53,857
株主資本合計	11,218,910	11,184,267
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	236,958	167,361
繰延ヘッジ損益	△5,825	△8,462
為替換算調整勘定	△48,860	△38,283
評価・換算差額等合計	182,272	120,616
純資産合計	11,401,183	11,304,883
負債純資産合計	30,419,294	30,744,171

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年12月1日 至平成21年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年8月31日)
売上高	35,036,689	36,847,392
売上原価	29,983,820	31,406,932
売上総利益	5,052,869	5,440,460
販売費及び一般管理費	4,893,671	5,103,604
営業利益	159,198	336,855
営業外収益		
受取利息	2,738	1,473
受取配当金	23,674	43,009
持分法による投資利益	—	81,873
受託研究収入	33,521	15,736
その他	95,962	94,718
営業外収益合計	155,897	236,811
営業外費用		
支払利息	49,205	41,450
持分法による投資損失	432,647	—
貸倒引当金繰入額	—	38,550
その他	21,651	41,693
営業外費用合計	503,504	121,694
経常利益又は経常損失(△)	△188,409	451,972
特別利益		
クレーム補償金	—	12,196
作業くず売却益	—	51,980
固定資産売却益	968	—
投資有価証券売却益	357	5,924
特別利益合計	1,325	70,101
特別損失		
減損損失	20,361	24,571
固定資産処分損	1,082	8,302
投資有価証券評価損	464	27,360
確定拠出年金移行損	—	49,518
特別損失合計	21,908	109,752
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△208,991	412,321
法人税、住民税及び事業税	165,297	238,181
過年度法人税等	—	57,237
法人税等調整額	△79,370	△63,184
法人税等合計	85,926	232,234
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△294,918	180,086

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年12月1日 至 平成21年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年12月1日 至 平成22年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△208,991	412,321
減価償却費	374,425	382,159
持分法による投資損益(△は益)	432,647	△81,873
減損損失	20,361	24,571
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△63,245	41,542
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3,081	30,996
受取利息及び受取配当金	△26,413	△44,482
支払利息	49,205	41,450
売上債権の増減額(△は増加)	2,394,429	732,491
たな卸資産の増減額(△は増加)	191,136	△75,816
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,004,540	△316,511
未払費用の増減額(△は減少)	△436,567	△307,952
その他	207,408	70,205
小計	932,939	909,101
利息及び配当金の受取額	87,848	86,122
利息の支払額	△48,738	△42,414
役員退職慰労金の支払額	△7,520	—
法人税等の支払額	△28,698	△362,483
法人税等の還付額	61,106	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	996,936	590,326
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△106,134	△237,616
無形固定資産の取得による支出	△49,119	△26,985
有形固定資産の売却による収入	1,137	—
投資有価証券の取得による支出	△11,980	△7,144
その他	△5,230	23,056
投資活動によるキャッシュ・フロー	△171,326	△248,689
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△300,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△180,000	△180,000
配当金の支払額	△118,499	△125,317
その他	△6,213	△13,967
財務活動によるキャッシュ・フロー	△604,712	△219,284
現金及び現金同等物に係る換算差額	△861	△7,581
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	220,036	114,769
現金及び現金同等物の期首残高	1,479,601	1,679,861
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,699,637	1,794,631

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間（自平成20年12月1日 至平成21年8月31日）

	医薬品 (千円)	医薬・香 粧原料 (千円)	化成品 (千円)	食品原料 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	13,177,963	13,116,737	5,834,828	2,907,160	35,036,689	—	35,036,689
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	368,002	—	—	368,002	(368,002)	—
計	13,177,963	13,484,740	5,834,828	2,907,160	35,404,692	(368,002)	35,036,689
営業利益（又は営業損失）	△207,813	814,547	1,026	132,146	739,906	(580,708)	159,198

(注) 1. 事業区分の方法及び各区分に属する主要な製品の名称

事業は製品の種類及び販売経路の類似性によりセグメンテーションしております。

事業区分	主要な製品
医薬品	医療用、一般用、動物用及び体外診断用医薬品、検査用試薬
医薬・香粧原料	医薬品原料、香粧品原料
化成品	電子工業用薬品、表面処理薬品、化成品
食品原料	天然調味料、乾燥野菜、乳製品、果実・茶の加工品

2. 第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）を適用しております。

この結果、従来の方法によった場合に比べ、営業利益は「医薬品」で26,712千円、「医薬・香粧原料」で62,725千円、「化成品」で38,449千円、「食品原料」で4,412千円減少しております。

当第3四半期連結累計期間（自平成21年12月1日 至平成22年8月31日）

	医薬品 (千円)	医薬・香 粧原料 (千円)	化成品 (千円)	食品原料 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	13,184,249	13,390,336	7,261,182	3,011,625	36,847,392	—	36,847,392
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	362,379	—	—	362,379	(362,379)	—
計	13,184,249	13,752,715	7,261,182	3,011,625	37,209,771	(362,379)	36,847,392
営業利益（又は営業損失）	△103,903	740,135	114,712	100,640	851,585	(514,729)	336,855

(注) 事業区分の方法及び各区分に属する主要な製品の名称
事業は製品の種類及び販売経路の類似性によりセグメンテーションしております。

事業区分	主要な製品
医薬品	医療用、一般用、動物用及び体外診断用医薬品、検査用試薬
医薬・香粧原料	医薬品原料、香粧品原料
化成品	電子工業用薬品、表面処理薬品、化成品
食品原料	天然調味料、乾燥野菜、乳製品、果実・茶の加工品

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自平成20年12月1日 至平成21年8月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成21年12月1日 至平成22年8月31日）において四半期報告書提出会社及び連結子会社は、同一の本国に所在し本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社の売上がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間（自平成20年12月1日 至平成21年8月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成21年12月1日 至平成22年8月31日）の海外売上高は、連結売上高の10%未満のため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。